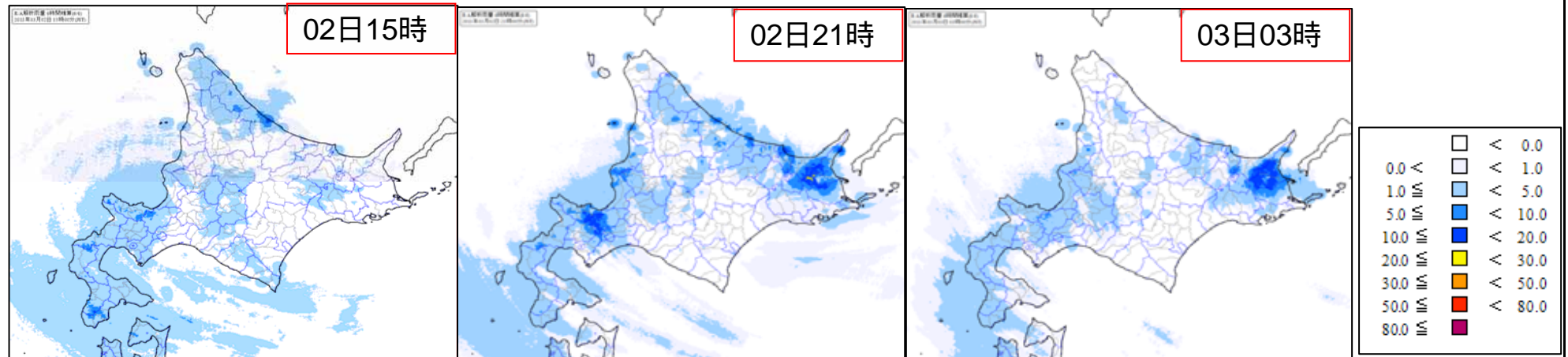


低気圧に伴う暴風雪による被害状況等について

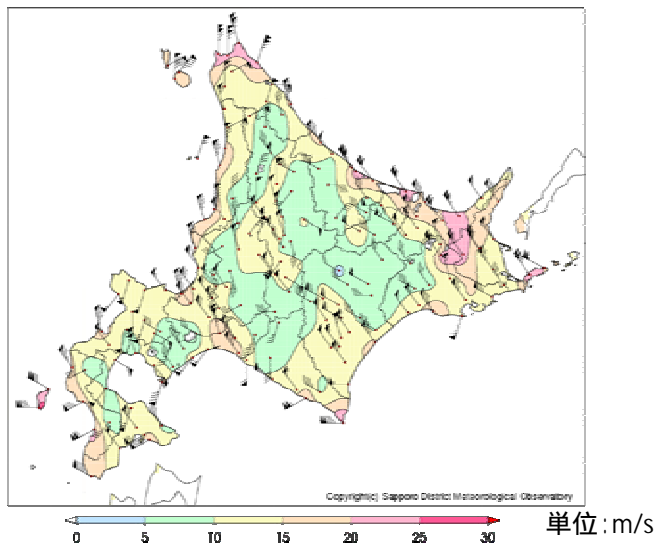
1. 気象の概況

日本海から進む前線を伴った低気圧が急速に発達しながら3月2日から3日にかけて、北海道を通過した。これにより、地域によっては2日午後から天候が急変し、湧別町で最大瞬間風速30.4 m(観測史上最大)、中標津町で最大瞬間風速23.7 m(観測史上最大)を記録するなど、雪を伴った非常に強い風が吹き、猛吹雪となりオホーツク、根室管内を中心に被害が発生した。

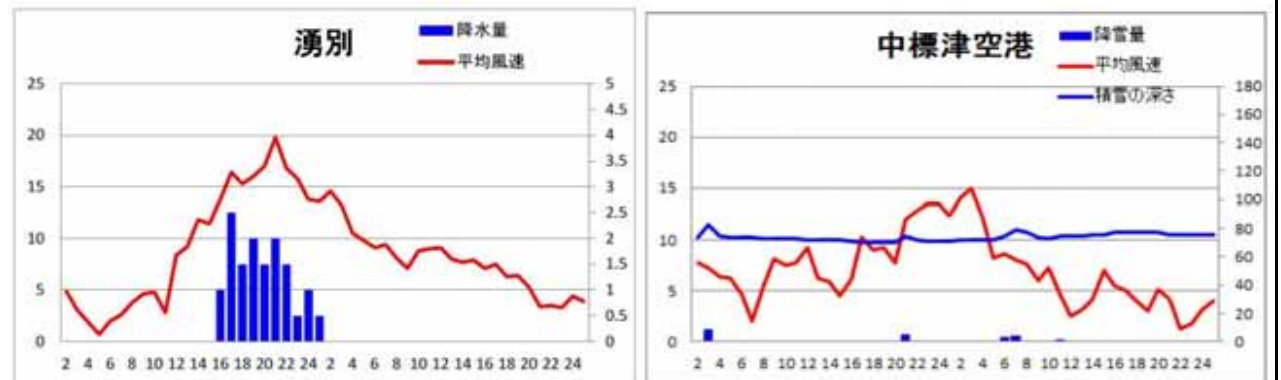
【降水量の推移(3/2~3)】



【風速の状況】



【観測点での気象状況(3/2~3)】



2日の午後から、オホーツクや根室管内において、降水(雪)量が多くなり、風速10 m ~ 20 mの強風が、3日朝まで続いた。

2. 被害の概況

(1) 人的被害

死者9名(6件)

市町村名	死者数	状 況
中標津町	4名	立ち往生した車両内で発見
	1名	立ち往生した車両付近(牧草地)で発見
湧別町	1名	立ち往生した車両から離れた場所(倉庫前)で発見
富良野市	1名	雪に埋もれた車両付近(畑地)で発見
網走市	1名	自宅付近道路脇で倒れているのを発見
北見市	1名	帰宅途中において路上に倒れているのを発見

負傷者8名～重傷者1名(湧別町)、軽傷者7名(札幌市、北見市ほか)

(2) 住家等被害

住 家：半壊1件(松前町)、一部損壊25件(根室市、札幌市、礼文町ほか)

非住家：全壊2件(札幌市、礼文町)、半壊8件(稚内市、礼文町、浜頓別町)

(3) ライフラインの影響

道路通行規制：国道23路線44区間、道道124路線149区間

JRの運休：3/2～307本、3/3～361本

航空機欠航：3/2～212便、3/3～23便 道内発着便

停電：宗谷、桒ヶ、根室管内を中心に延べ約8,000戸

(4) 産業の被害

ビニールハウスの一部損壊：760棟(大空町、北見市、小清水町、網走市ほか)

その他営農施設の一部損壊：283棟(大空町、小清水町、湧別町、別海町ほか)

漁船の損壊等：14隻(積丹町、小樽市、函館市ほか)

水産施設等の損壊等：12件(寿都町、積丹町、小樽市、古平町ほか)

(5) 土木施設被害：海岸施設2件(寿都町)、道路施設1件(網走市)

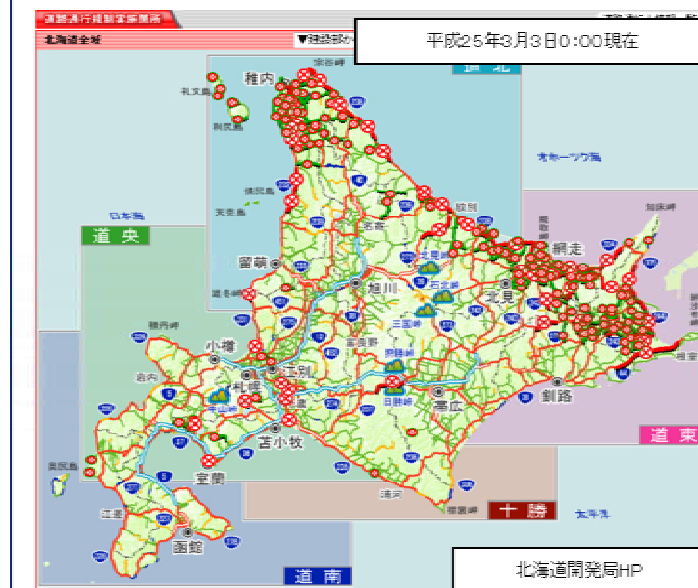


H25.3.3北海道新聞(朝刊)



H25.3.4朝日新聞(朝刊)

○道路通行規制状況



○通行規制状況(最大時)
 高速道路 3路線 8区間
 一般国道 23路線 44区間
 道 道 124路線 149区間

(6) 道路での立ち往生車両等の状況

立ち往生車両等の状況（市町村等からの聞き取り）

全道の48市町村において、929台の通行に障害が発生。

振興局	車両数	乗員数	市 町 村
空知	50	27	芦別市、赤平市、滝川市、南幌町、長沼町、北竜町
石狩	158	137	恵庭市、江別市、新篠津村、石狩市、当別町、北広島市
後志	22	未確認	神恵内村、蘭越町、真狩村、京極町、黒松内町、留寿都村
上川	47	56	中富良野町、東神楽町、美深町、富良野市
留萌	3	3	留萌市、苫前町
宗谷	32	47	枝幸町、稚内市、豊富町、礼文町
林-ツ	468	616	北見市、網走市、紋別市、美幌町、斜里町、小清水町、訓子府町、佐呂間町、遠軽町、湧別町、雄武町、大空町
十勝	5	6	新得町
釧路	22	27	弟子屈町、標茶町
根室	122	99	根室市、標津町、中標津町、別海町、羅臼町
計	929	1,018	48市町村

車両数は、立ち往生車両のほか、通行止めによる一時待避しているものも含む。また、乗員数については、確認されたもののみを集計。

避難所等への一時待機者：741名

北見市258名、大空町102名、湧別町89名、中標津町56名、小清水町48名、標津町47名、枝幸町46名、佐呂間町45名、標茶町25名、根室市24名、羅臼町1名



H25. 3. 4北海道新聞(朝刊):北見市常呂町



H25. 3. 4朝日新聞(朝刊):網走市

(7) 救助・救出等活動の状況（消防等から聞き取り）

消防活動の状況

振興局	通報件数	出動件数	応急対策活動	救助救急活動	救助救急者数	
					救助救急者数	救急搬送数
消 空知	2	2	2	0	0	0
防 石狩	34	34	20	14	25	2
活 渡島	11	11	11	0	0	0
動 上川	2	2	0	2	6	6
宗谷	4	4	3	1	1	1
林-ツ	47	43	6	37	30	18
日高	1	1	1	0	0	0
十勝	4	4	0	4	2	2
釧路	2	1	1	0	0	0
根室	11	11	7	4	5	5
計	118	113	51	62	69	34

応急対策活動～住家等損壊に係る応急対策（飛散防止等）など

自衛隊災害救助活動の状況

振興局	要請件数	活動件数	救助者数	備 考
自衛隊活動 林-ツ	3	3	24	救助及び車両等の救出誘導
根室	1	1	-	消防において救助完了
計	1	4	24	

3. 被害状況等を踏まえた今後の対応

【厳しい気象状況についての住民等への注意喚起】

暴風雪警報が発令され、急激な天候悪化により各地で道路の通行規制などが行われる中で、車両の立ち往生や救助事案が多数発生しており、こうした厳しい気象状況においては住民等に対し「外出を自粛する」などの注意喚起が必要。

気象台とも連携しながら、テレビなどの報道機関に対して、厳しい気象状況に際しての住民等への呼びかけを要請する。

道路情報提供装置に「暴風雪警報発令中」や「吹きだまり注意」など、注意喚起の内容を表示する。

通行規制の実施にあわせて「外出を控えること」など住民への呼びかけを、防災無線や防災メールあるいはコミュニティFMなど、様々な手段を活用して行うよう、市町村に対し促す。

【冬期間において車両が立ち往生した場合の緊急避難方法についての啓発】

冬期間においては、車内に防寒着やスコップなどを用意すること、また、立ち往生し近隣に避難できる場所がない場合は、消防や警察に連絡し、車内で待機するとともに、窓を開け換気を行うなどの緊急避難方法について、日頃からの啓発が必要。

道の広報紙や広報番組はもとより市町村の広報紙などを活用し、住民への啓発に努める。

北海道地区レンタカー協会連合会に対し、利用者への啓発について要請する。

【災害派遣における自衛隊との連携強化】

冬期間の災害派遣においては、現場到着まで時間を要する可能性があることから、自衛隊と連携し、事前に準備や調整を行うなどして、より速やかな現場対応に努める。

【冬期間における厳しい気象状況に備えるため道路管理の充実強化】

道路交通や気象、防災の専門家、国などで構成する委員会を設置し、関係機関との情報共有、通行規制情報の提供方法、冬期の防災訓練、事前通行規制区間の設定など、道路管理の充実強化に向けた検討を行う。

(参考)

